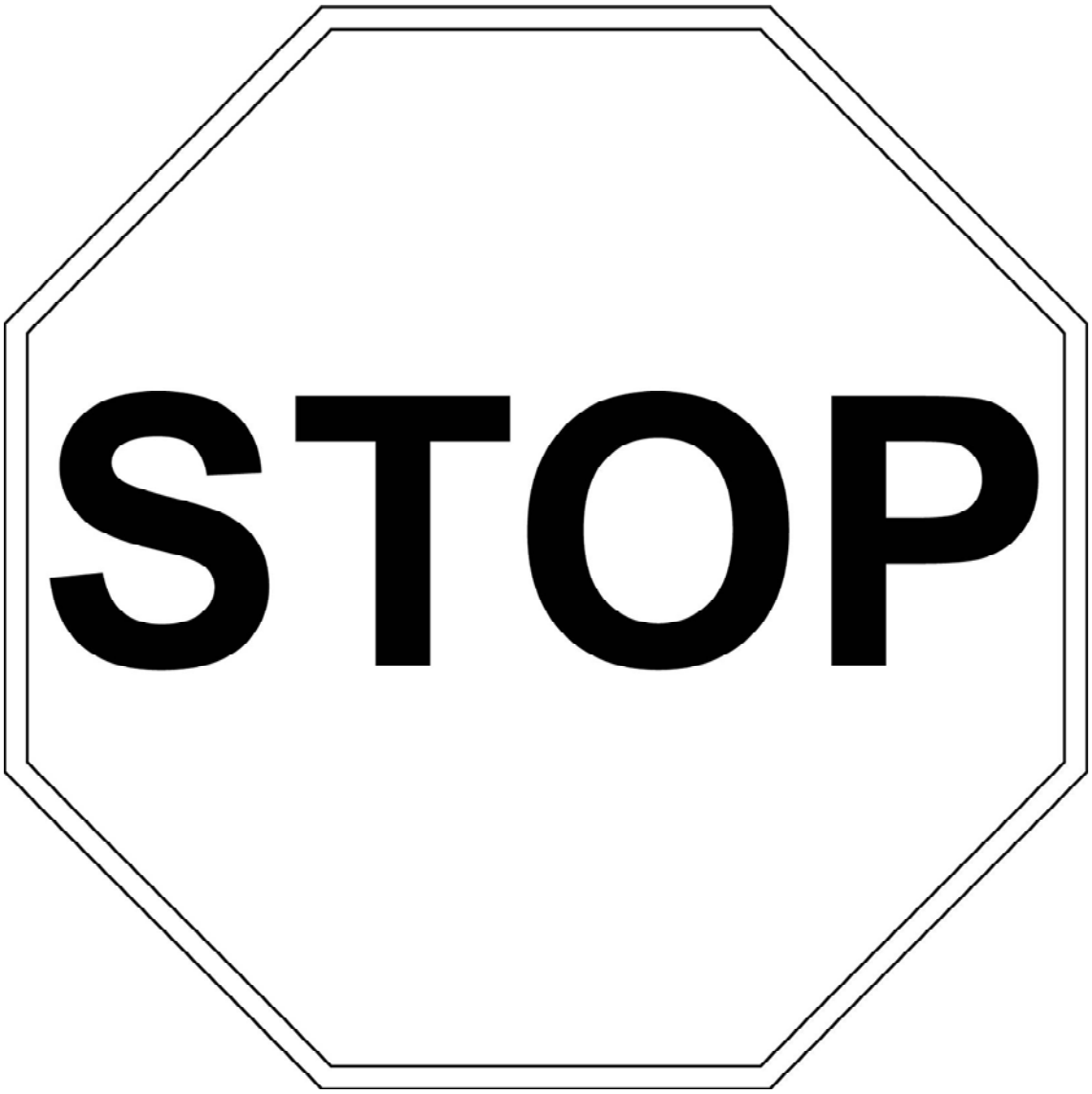
Net-Access™ Nタイプ ネットワークキャビネット

©Panduit Corporation Japan Branch

CM598B-JP



注　意

作業を始める前によくお読みください

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

Net-Access™ Nタイプ ネットワークキャビネット

©Panduit Corporation Japan Branch

【注】本取扱説明書で示されている製品は、
現物と多少異なる可能性があります。

工具リスト

- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- T30 トルクスビット
- T25 トルクスビット
- ワイヤーカッター
- 22mmソケットレンチ
- 15mmソケットレンチ
- 13mmソケットレンチ
- 8mmソケットレンチ
- 7mmソケットレンチ
- 6mm 六角棒レンチ
- 2.5mm 六角棒レンチ

©Panduit Corporation Japan Branch

Net-Access™ Nタイプ ネットワークキャビネット

目次

運搬用資材の取り外し・・・

©Panduit Corporation Japan Branch

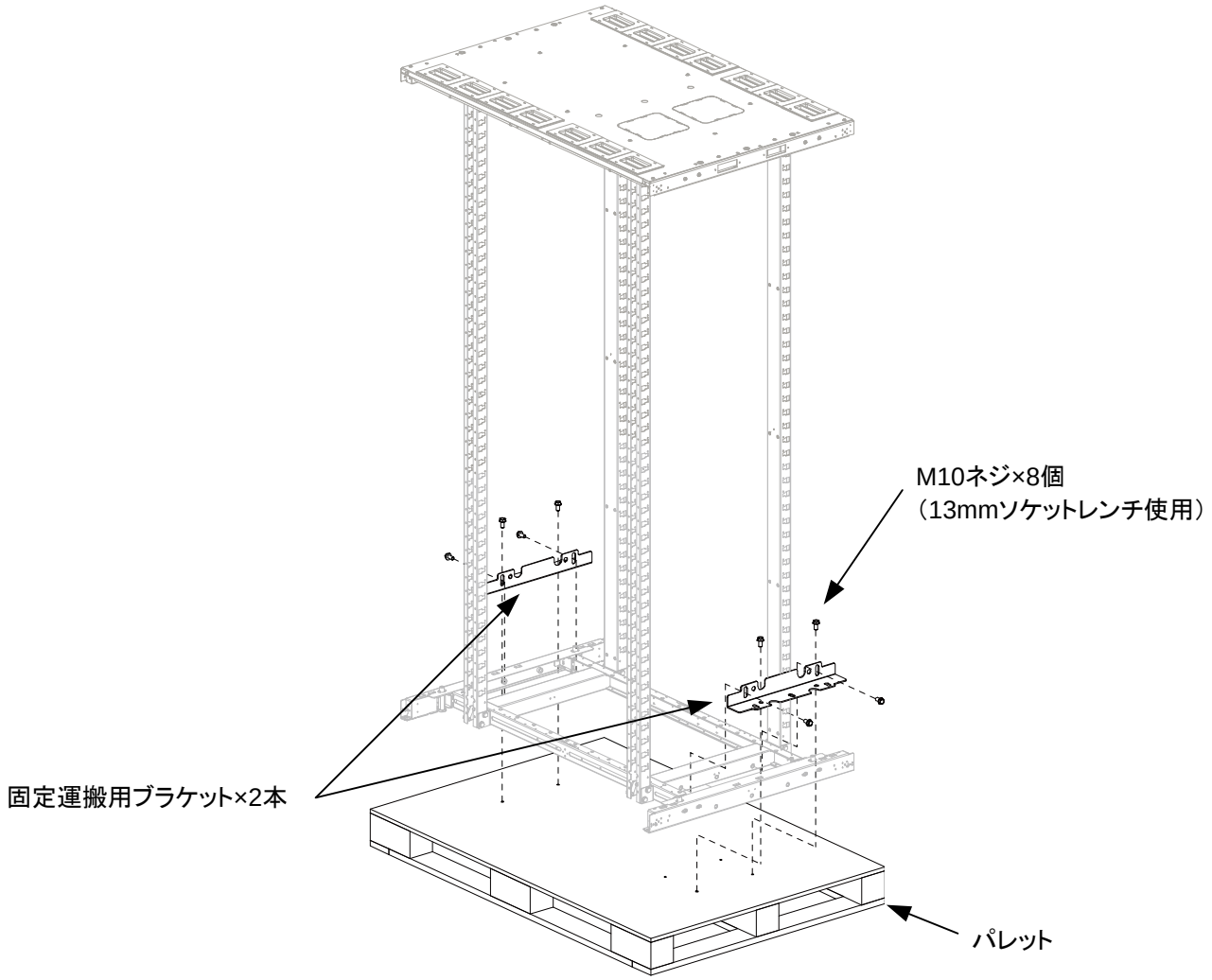
運搬用資材の取り外し

※本ページの作業は通常、運送会社により実施済みです。

運搬用資材を取り外す前にご確認ください。
キャビネット外側の傾斜インジケーターを見て、キャビネットが垂直状態で運搬されたかを確認してください。もし傾斜インジケーターが、improper handlingを示している場合は、キャビネットを引き取る前に損傷等がないか確認をしてください。

固定運搬用ブラケットは、フロア取り付け用ブラケットと兼用になっています。フロアに取り付けをする場合、こちらのブラケットは保管しておいてください。(8ページ参照)
・キャビネット外側のすべてのパッケージラッピングと保護用段ボールを取り除きます。
・キャビネット前後に取り付けてある固定運搬用ブラケット(2本)を取り外します。
・作業員二名で慎重にパレットからキャビネットを降ろします。

【重要】
レベルフットは、キャビネットの移動前に完全に引っ込めておいてください。そのままキャビネットを移動させるとレベルフットを破損する恐れがあります。



【注】 扉、サイドパネル、その他の部材の表記は省略しています。

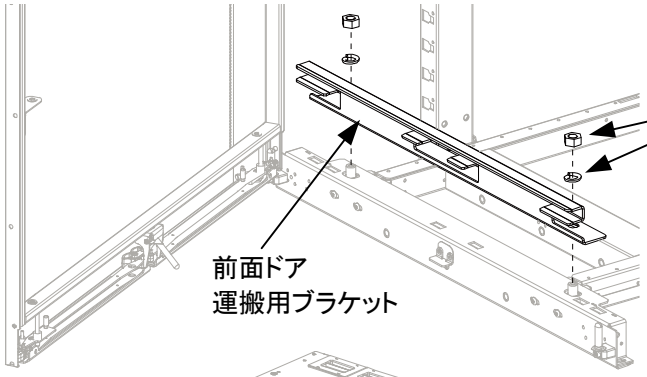
©Panduit Corporation Japan Branch

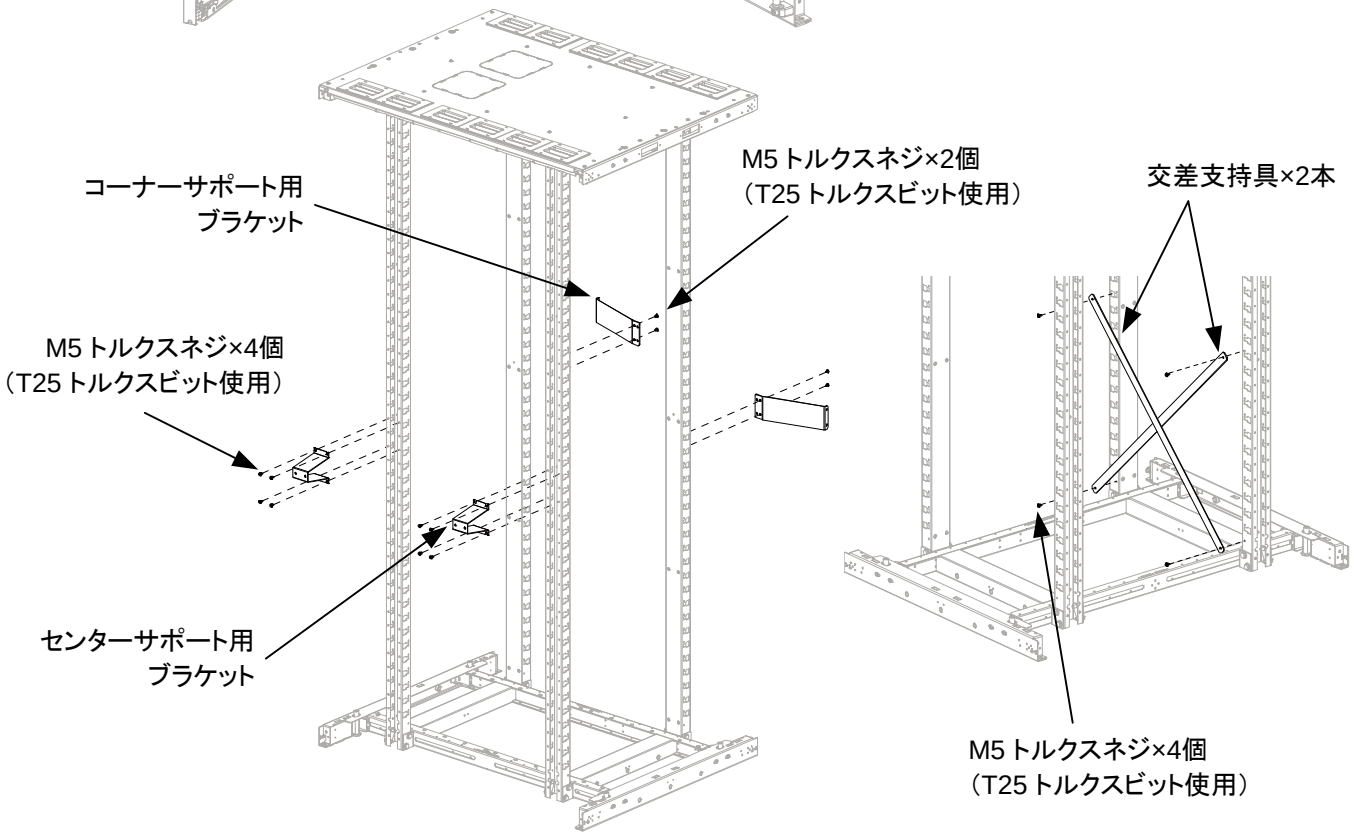
運搬用資材の取り外し

※本ページの作業は通常、運送会社により実施済みです。

運搬用資材を取り外す前にご確認ください。
　キャビネット外側の傾斜インジケーターを見て、キャビネットが垂直状態で運搬されたかを確認してください。
【注】
すべての型番に運搬用ブラケットが含まれるとは限りません。また、場合によっては運搬時に事前に取り外されていることがあります。
運搬用ブラケットは取り外し後破棄してください。すべての運搬用ブラケットには、『SHIPPING BRACKET REMOVE IMMEDIATELY（運搬用ブラケットです。直ちに破棄してください。）』とラベルが貼ってあります。

・前面ドアの運搬用ブラケットを取り外してください。
・キャビネットのフレームから全てのセンターサポート用ブラケット、およびコーナーサポート用ブラケットを取り外します。
・キャビネットのフレームから交差支持具（2本）を取り外します。



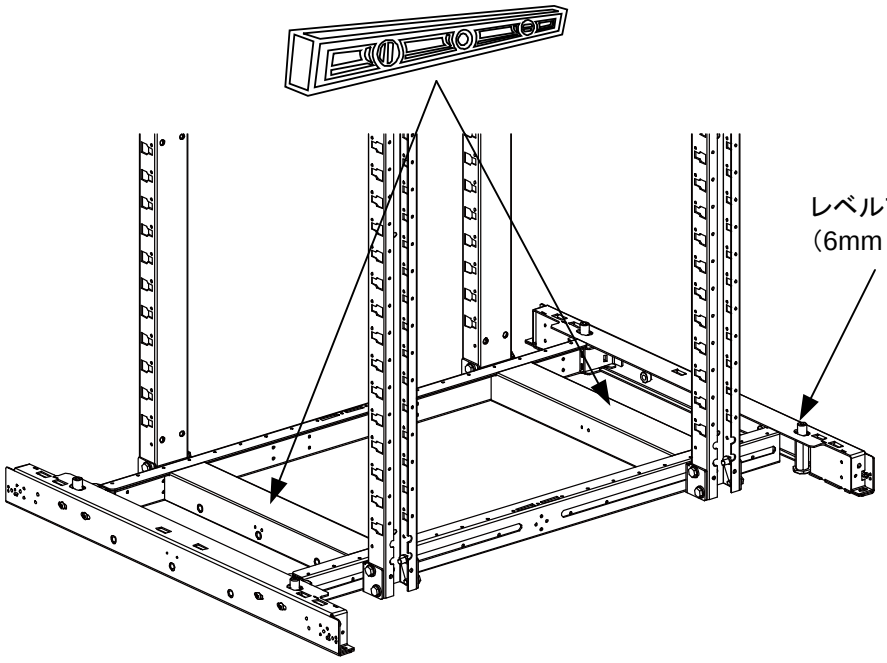


©Panduit Corporation Japan Branch

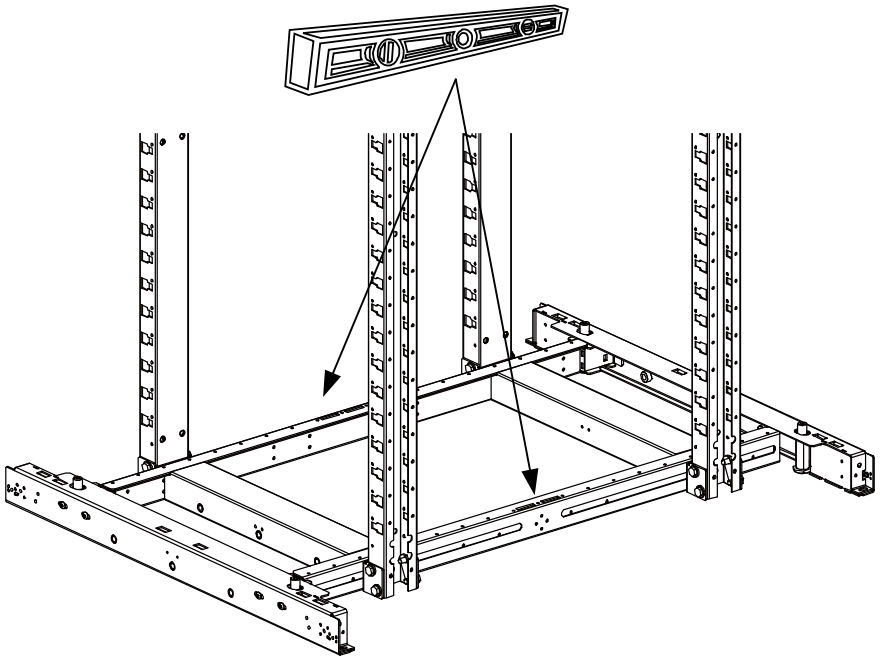
キャビネットを水平にする

・レベルフット（4本）が完全に引っ込んでいるか確認します。
・キャビネットを設置する位置まで移動します。
・キャビネットの荷重を確実に支えられるまで、レベルフットを下げます。
・キャビネットが床に対して水平になるようにレベルフットを調節します。

前面・背面



側面

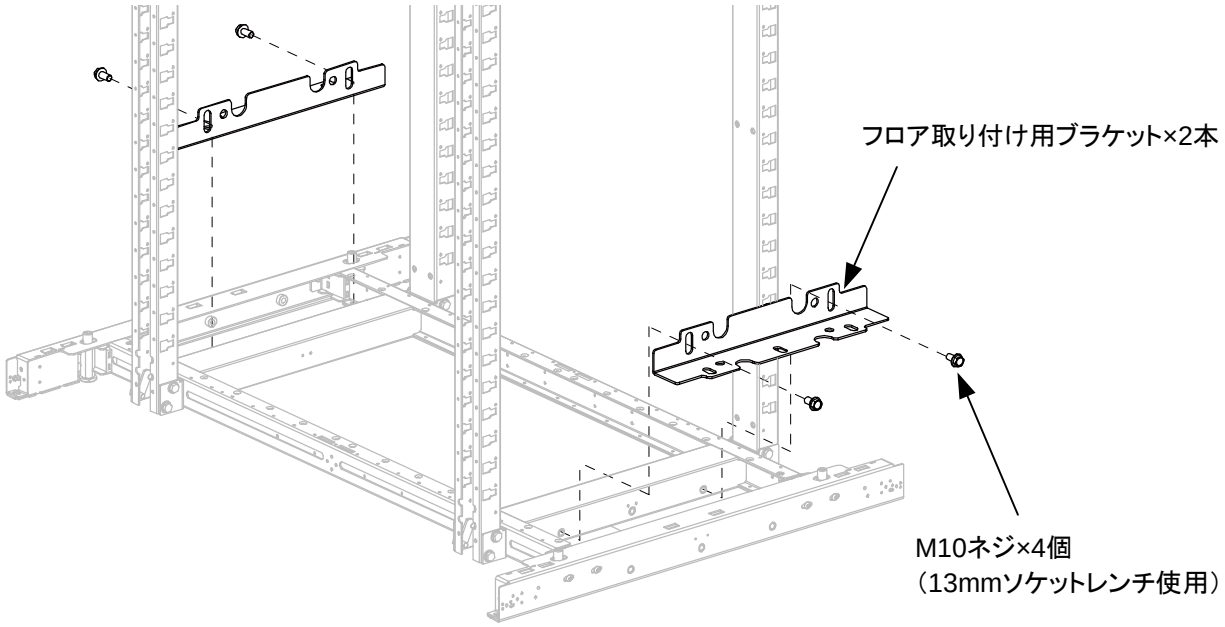


【注】 複数キャビネットを連結する場合は、隣接したキャビネット同士が同じ高さになるように調節してください。

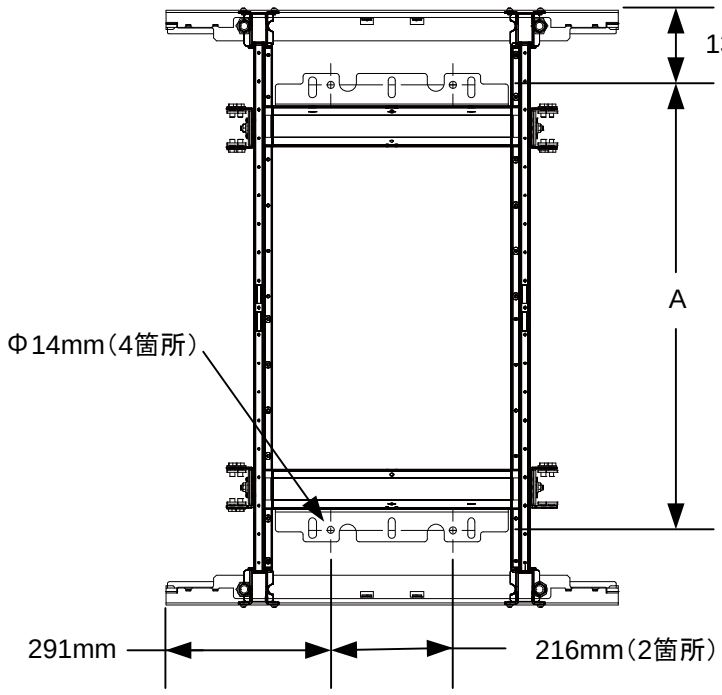
©Panduit Corporation Japan Branch

フロアへの固定

・必要に応じて、キャビネット前後のフロア取り付け用ブラケット（2本）で固定します。
・フロア取り付けの寸法については、下記の「フロア取り付け図」をご覧ください。
・設置場所に合った固定具を使用して、フロアにアンカーを打ってください。



フロア取り付け図



A寸法
782mm（奥行き1070mmキャビネット）
912mm（奥行き1200mmキャビネット）

【注】
キャビネットの連結は、幅800mm間隔で設計、および取り付けをしてください。

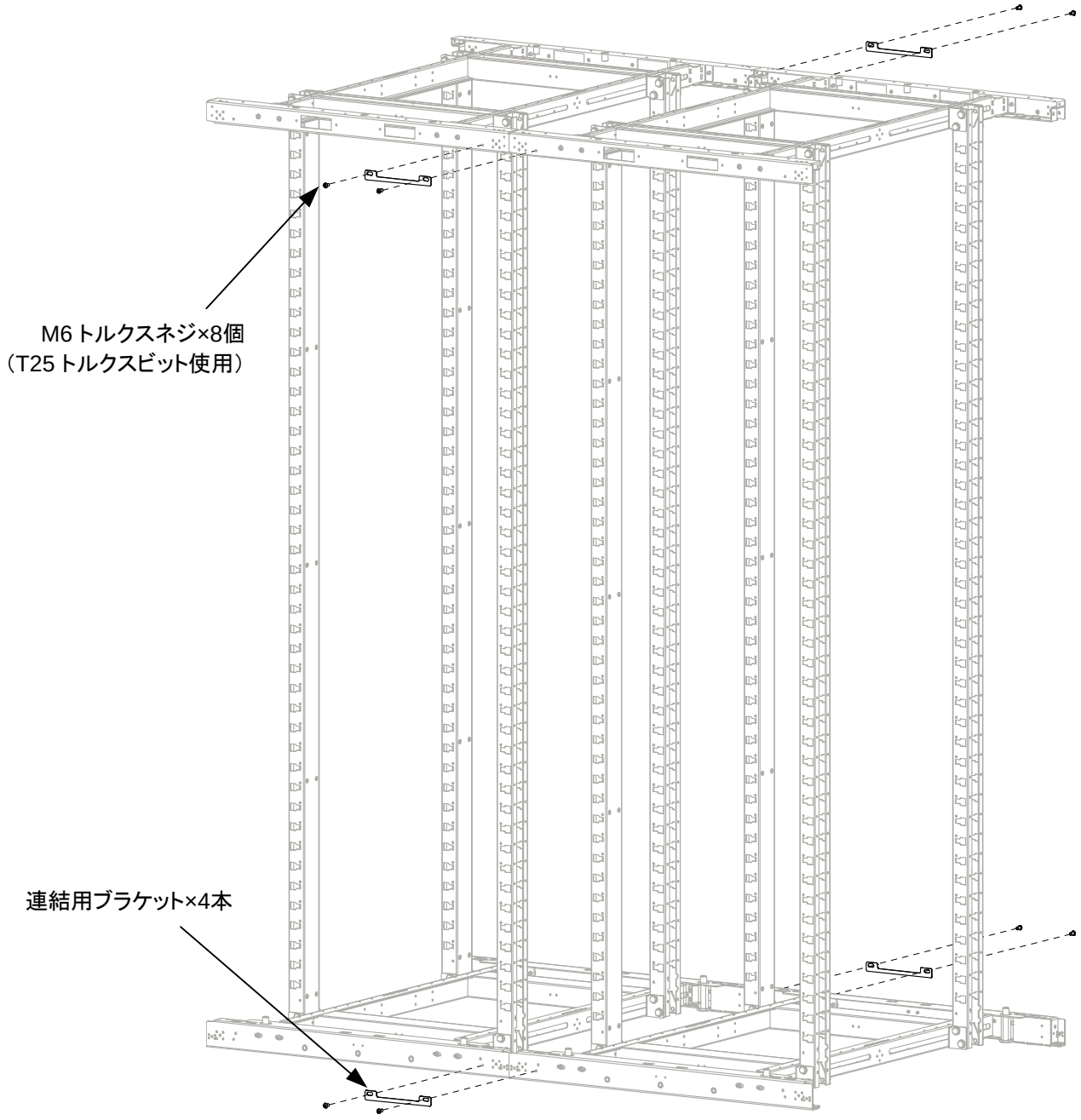
版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

キャビネットの連結

・キャビネットの水平を確認します。
・下図の位置4箇所に連結用ブラケットを取り付けます。

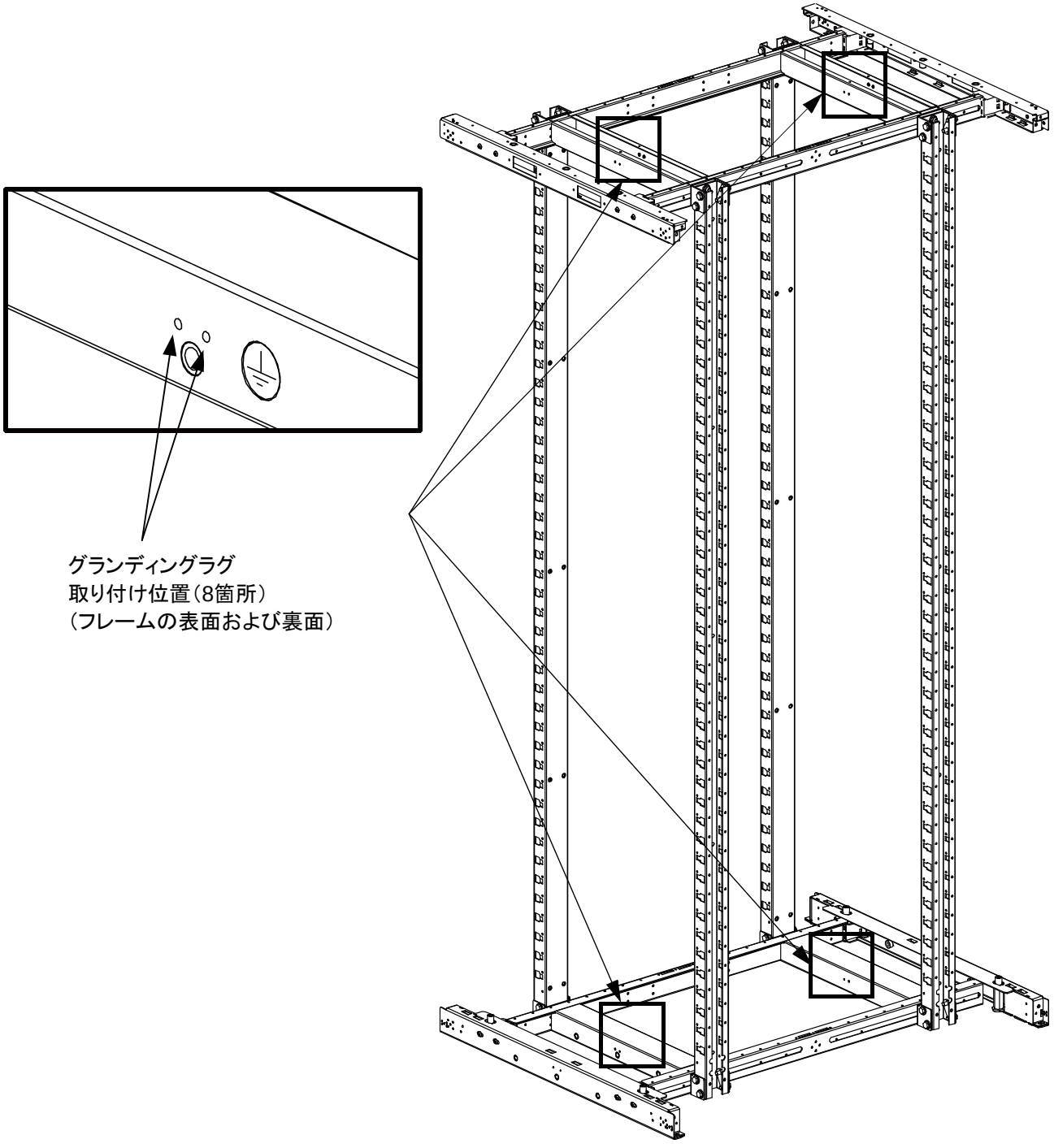
【重要】
7ページの手順に沿って、キャビネットの水平を確かめます。連結前にキャビネットを水平にすることは、ドアを適切に取り付けるためにも重要です。



©Panduit Corporation Japan Branch

グランディング

・下図の位置8箇所のいずれかにグランディングラグ、もしくはグランディングバーを取り付けます。
・グランディング接続位置は、グランディングシンボルで示されています。
・M5のボンディングネジを使用してください。



グランディングラグ
取り付け位置（8箇所）
（フレームの表面および裏面）

【注】 天板の表記は省略しています。

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

Net-Access™ Nタイプ ネットワークキャビネット

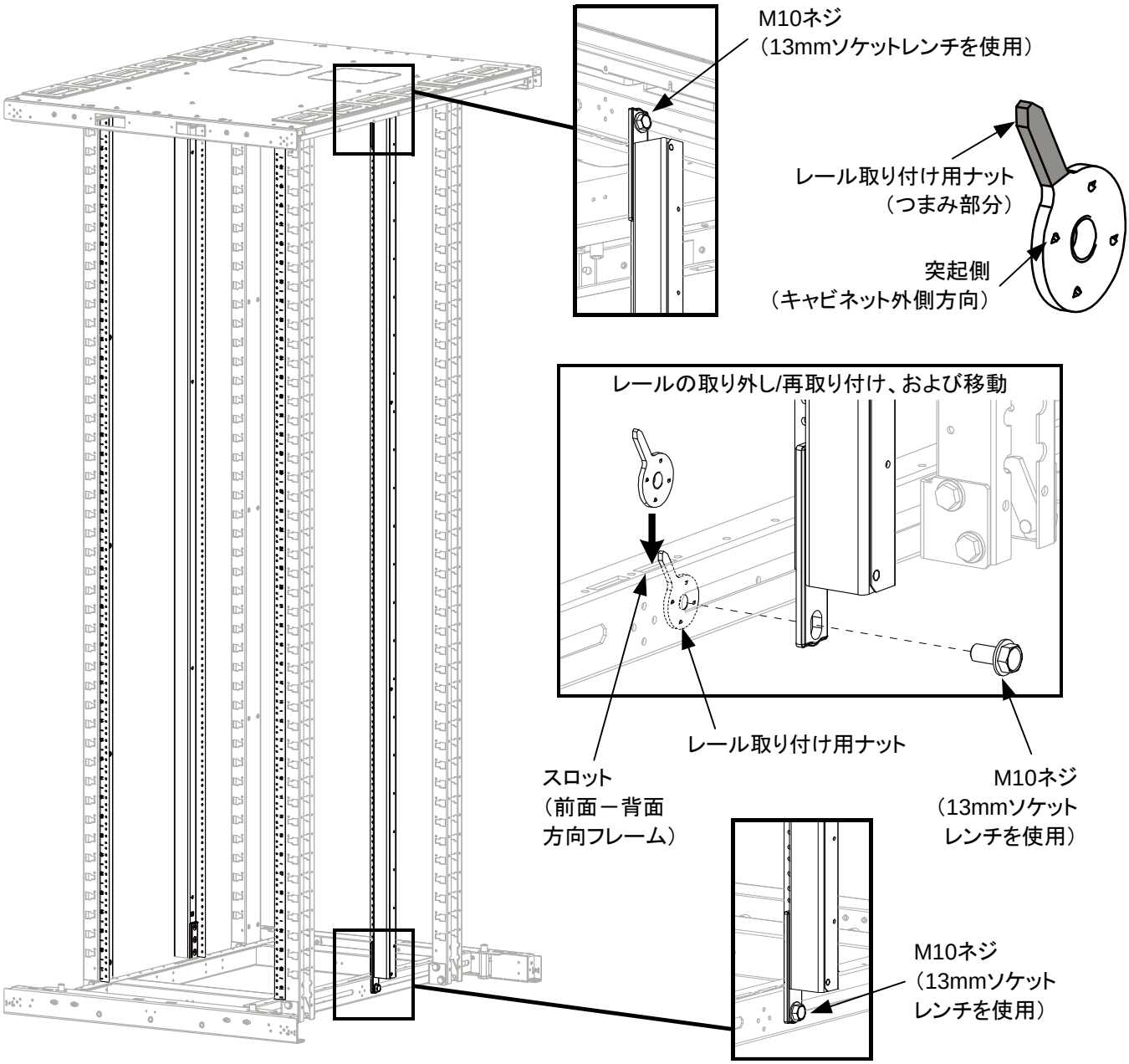
©Panduit Corporation Japan Branch

マウントレールの調節

・後部レールの上下に留めてあるM10ネジを緩めます。
・設定位置までレールを移動させます。
・30.0 +/- 5.0 N-mでM10ネジを締めます。

【注】 前部レールは固定されています。

<u>レールの取り外し/再取り付け、および移動</u>（上下位置）
・レールの上下に留めてあるM10ネジ（2個）を取り外します。
・前面から背面に向かうフレームのスロットに通してあるレール取り付け用ナット（2個）を取り外します。
・上記の逆の手順でレールの再取り付けができます。（取り付け用ナットのつまみ部分を持ち、前面から背面に向かうフレームのスロットに再度挿入します。レール取り付け用ナットの突起がある方が、キャビネットの外側を向いていることを確認してください。）

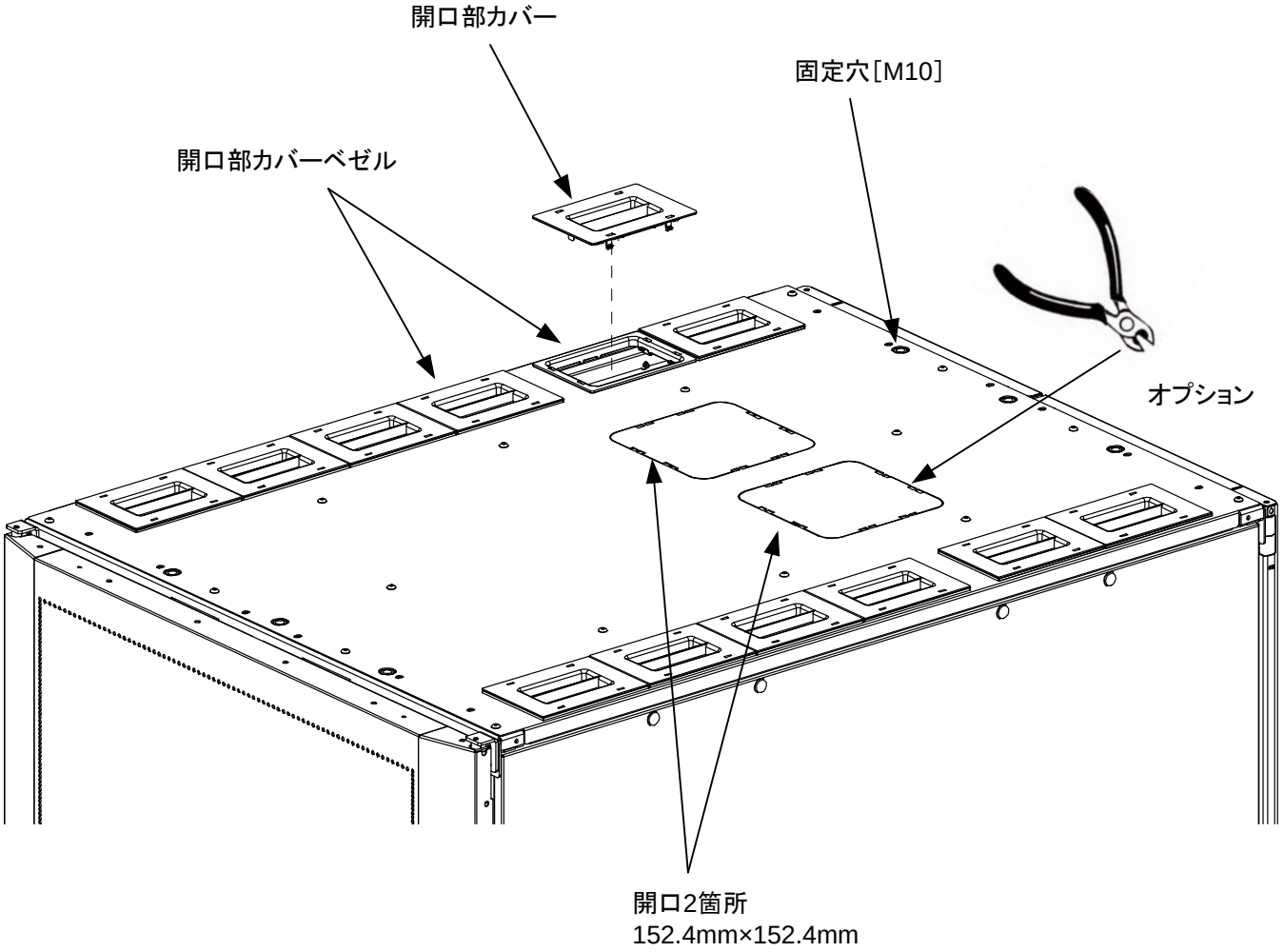


版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

ケーブル用天板開口

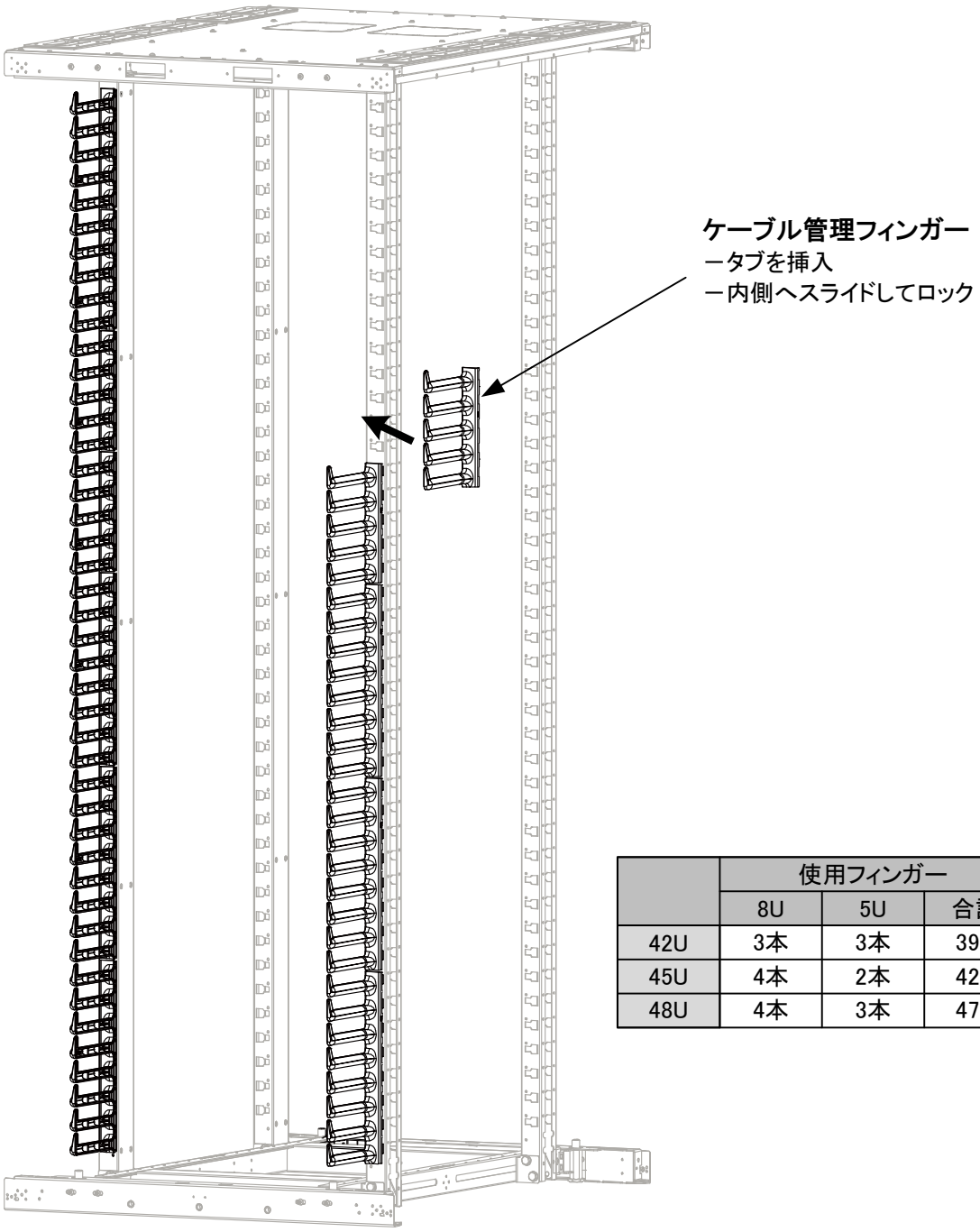
・天板開口からケーブルが挿入できるように、開口部カバーを外します。
・2箇所の大きな開口（152.4mm×152.4mm）は、電源ケーブルの配線に適しています。必要に応じて、8箇所あるタブをワイヤーカッターで切り取って開口します。
・必要に応じて、6または9箇所あるネジ穴にM10のボルトを挿入します。
・CoolBoot™冷気密閉型ケーブル保護ブーツ（別売）は、ケーブル出口のすきまを塞ぐことで熱効率を高めます。



©Panduit Corporation Japan Branch

ケーブル管理フィンガー（SN15F、SN25F）

・取り付けスロットにケーブル管理フィンガーのタブを挿入します。
・ケーブル管理フィンガーを内側にスライドさせてロックします。



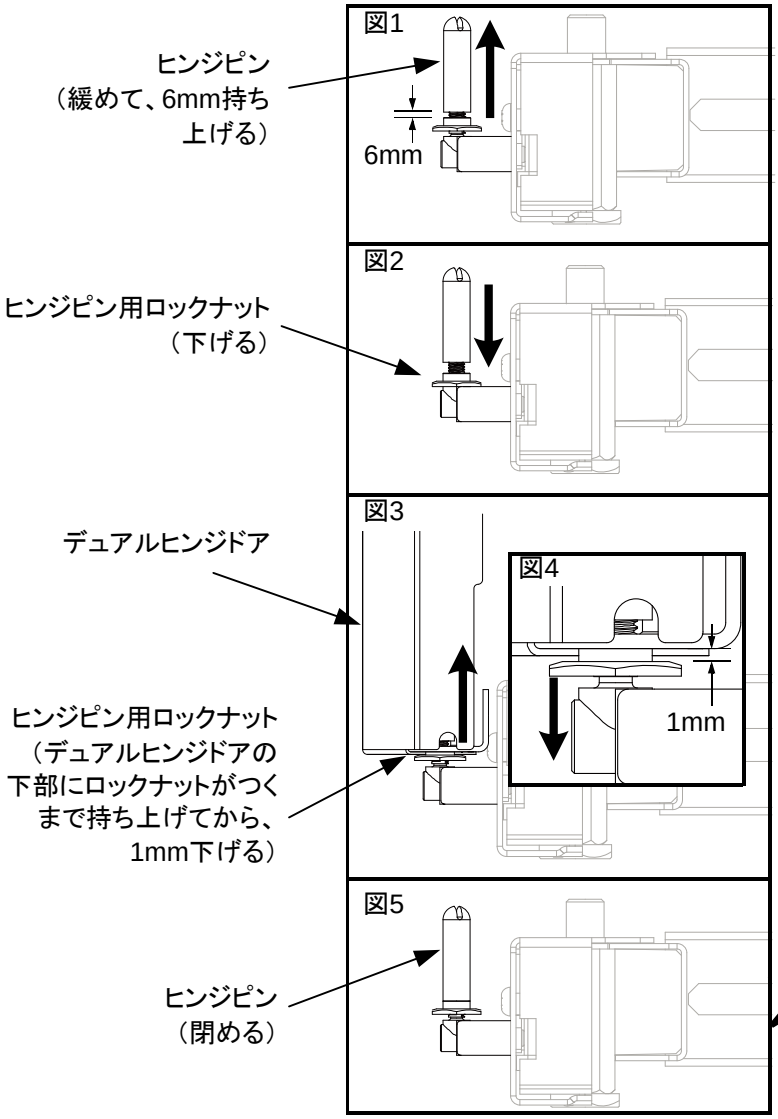
	使用フィンガー			取付穴数
	8U	5U	合計	
42U	3本	3本	39U	41
45U	4本	2本	42U	44
48U	4本	3本	47U	47

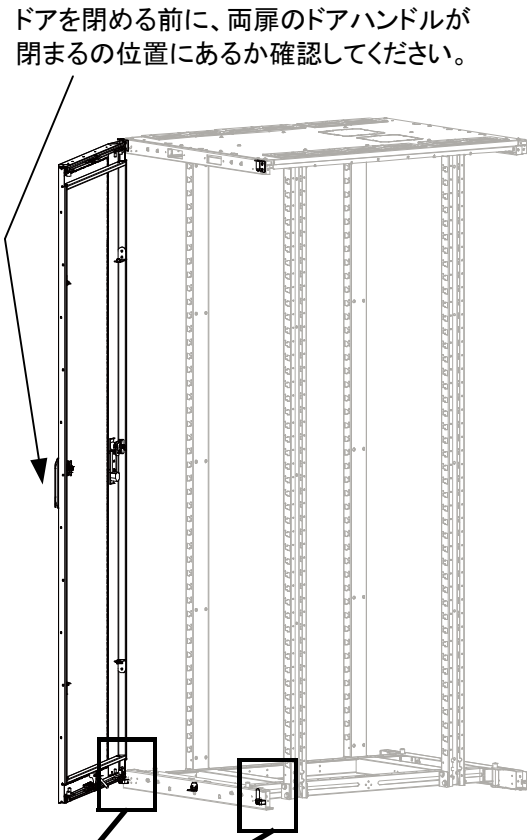
©Panduit Corporation Japan Branch

デュアルヒンジドア（操作方法）

【注】ドアは押すだけで閉じます。ドアを開けた後は、ドアハンドルは閉まるの位置にしておき、ドアを閉める時は軽く押すだけにしてください。

ドアの機能調節（ドア操作の最適化）
- キャビネットからデュアルヒンジドアを取り外します。（もしくは、片側だけを開きます。）
- 図1：キャビネットの下部にあるヒンジピンを緩めて、6mmほど持ち上げます。（ヒンジピンは左右2箇所にあります。）
- 図2：ヒンジピンの下部にあるヒンジピン用ロックナットを下げます。（出荷時にナットを既に下げていて、下がらない場合があります。）
- デュアルヒンジドアを再取り付けします。（16ページ参照）
- 図3/図4：デュアルヒンジドアの下部にロックナットが接触するまで、ヒンジピン用ロックナットを持ち上げます。その後、ロックナットを1mmほど下げます。
- 図5：デュアルヒンジドアを片側ずつ開き、2箇所のヒンジピンを閉めます。
- デュアルヒンジドアを閉じます。
- デュアルヒンジドアがヒンジピン用ロックナットに引っかかる場合は、引っかかりが取れるまでロックナットを下げます。





版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

デュアルヒンジドア（取り外し）

・両扉のドアハンドルを開けて、右側の扉を開きます。
・図1:ドアを支えながら、右側の赤いレバーを手前に引き、ラッチをクローズポジションにします。
・図2:ドアの上部を引き、左側のヒンジを取り外します。
・下部のヒンジピンからドアを引き上げます。

キャビネットからドアを取り外す
確認:ドアハンドルを両方とも開けて、開けた側（右側）のラッチを図4のようにクローズポジションにする

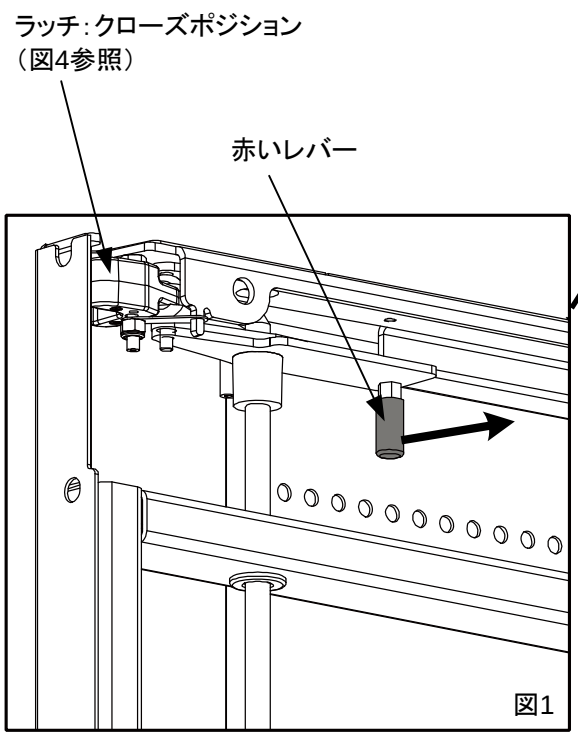


図1

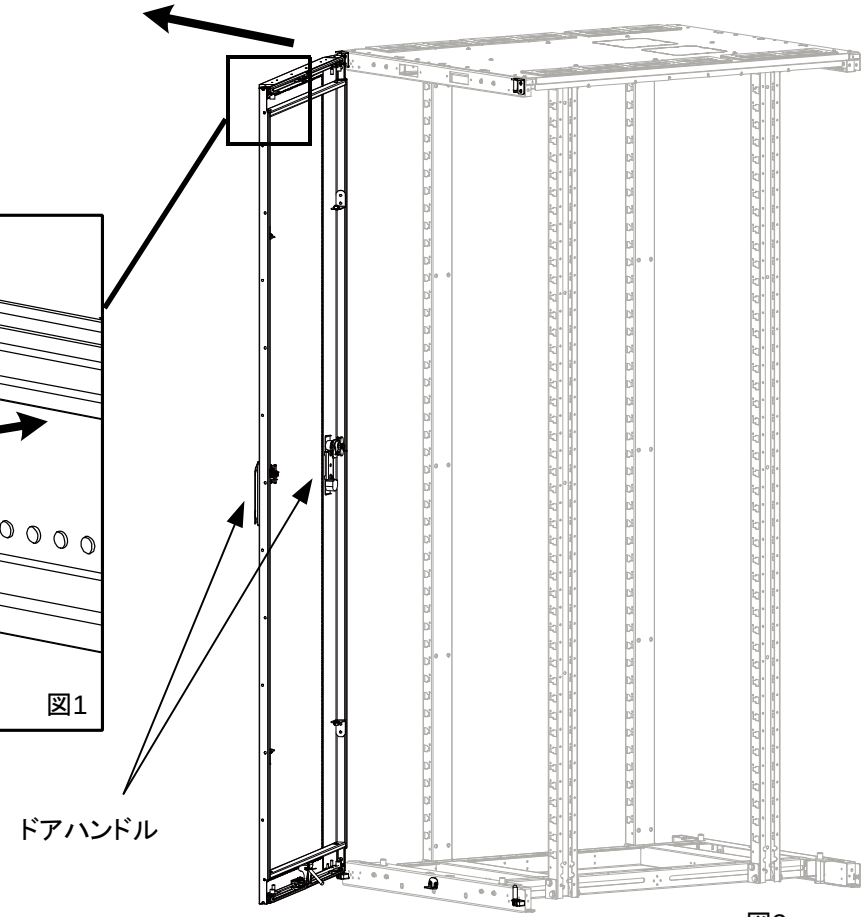


図2

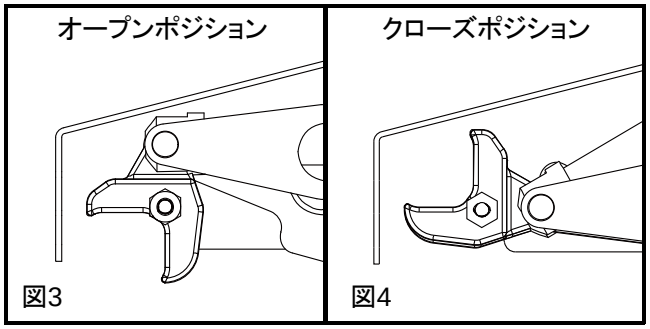


図3 図4

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

デュアルヒンジドア（取り付け）

・両扉のドアハンドルを開けます。
・図1：左側のラッチをオープンポジションにして（図3）、右側のラッチをクローズポジションにします（図4：右側の赤いレバーを引いてラッチをクローズポジションにする）。
・左側下部のヒンジピンの上にドア（左側下部ラッチはクローズポジション）を載せます。
・図2：ドアを支えながら、左側の上部ラッチとキャビネットを揃え、ラッチが掛かるまでキャビネットにドアを押し込みます。
・図1：右側で上部ラッチをオープンポジション（図3）にするために、赤いレバーを手前に引きます。
・両扉のドアハンドルを閉じて、ドアを閉めます。

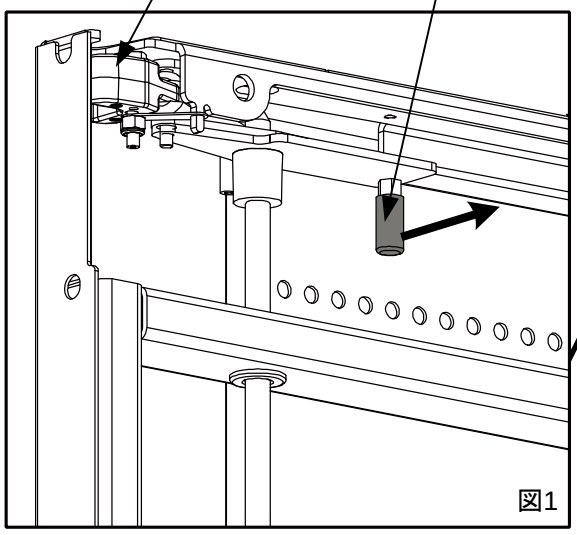


図1

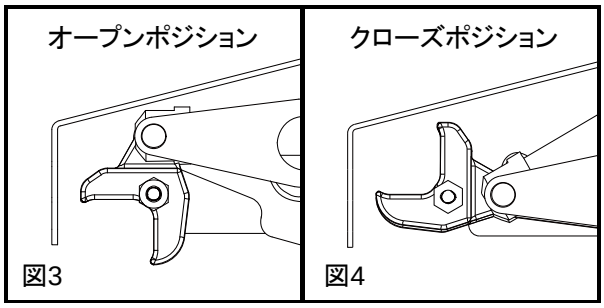


図3 図4

キャビネット側へドアを押し込む
確認：ドアハンドルを両方とも開けて、図3のように
オープンポジションにしてドアを押し込む

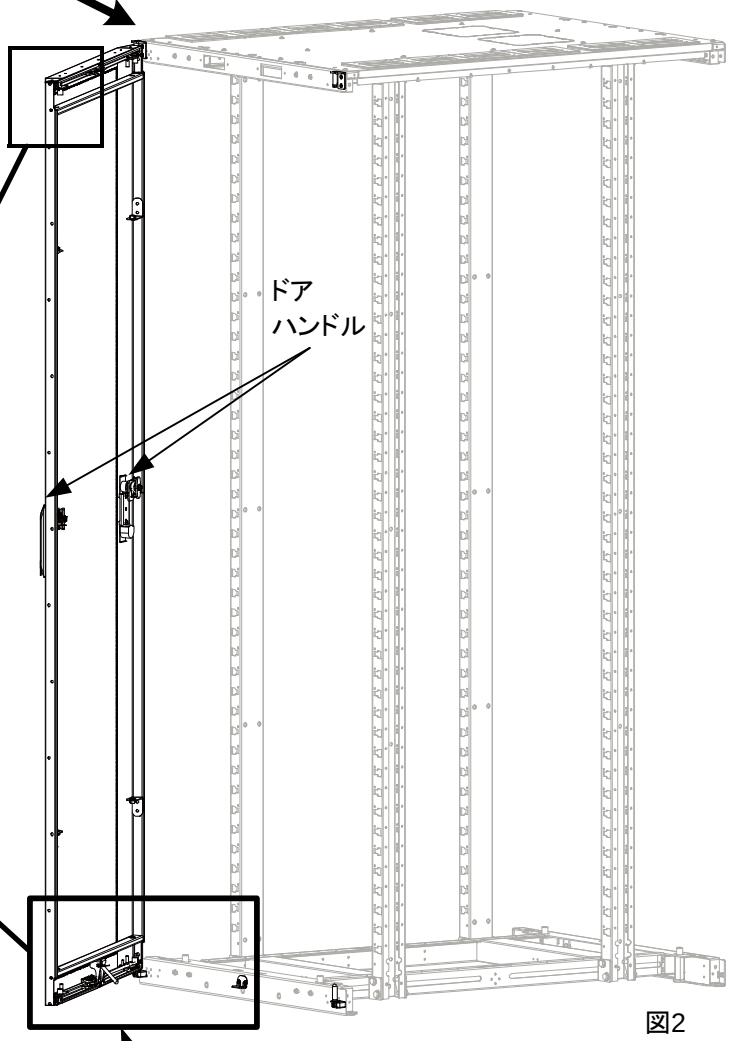
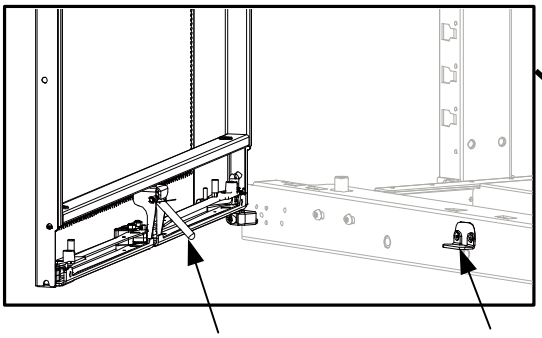


図2



ドア用リフトピンがドアを閉める際、リフトピンブラケットに装着されていることを確認してください。

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

シングルヒンジドア（取り外し、および取り付け）

・図1：ドア上部のヒンジ部分のスプリングピンを下げます。
・図1：キャビネットからシングルヒンジドアを取り外します。
・図2：下部のヒンジピンからドアを引き抜きます。
・ドアを取り付けるには、手順を逆に行います。

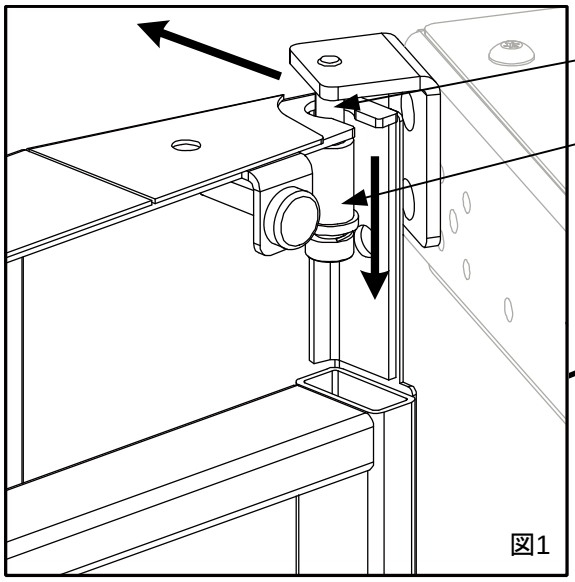


図1

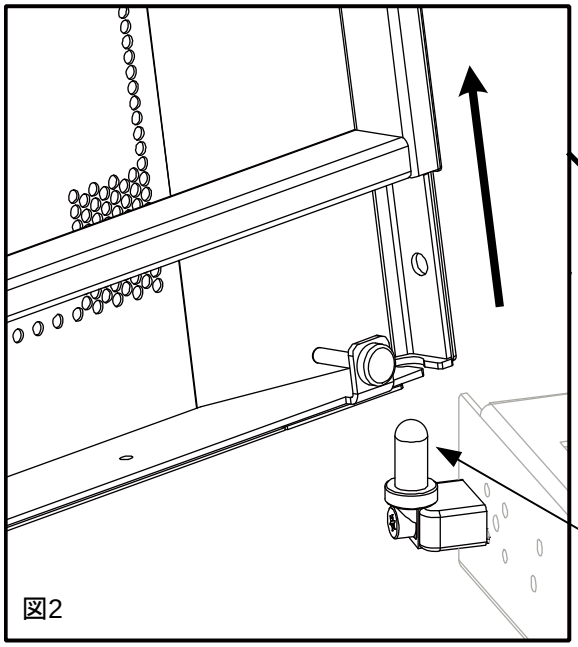


図2

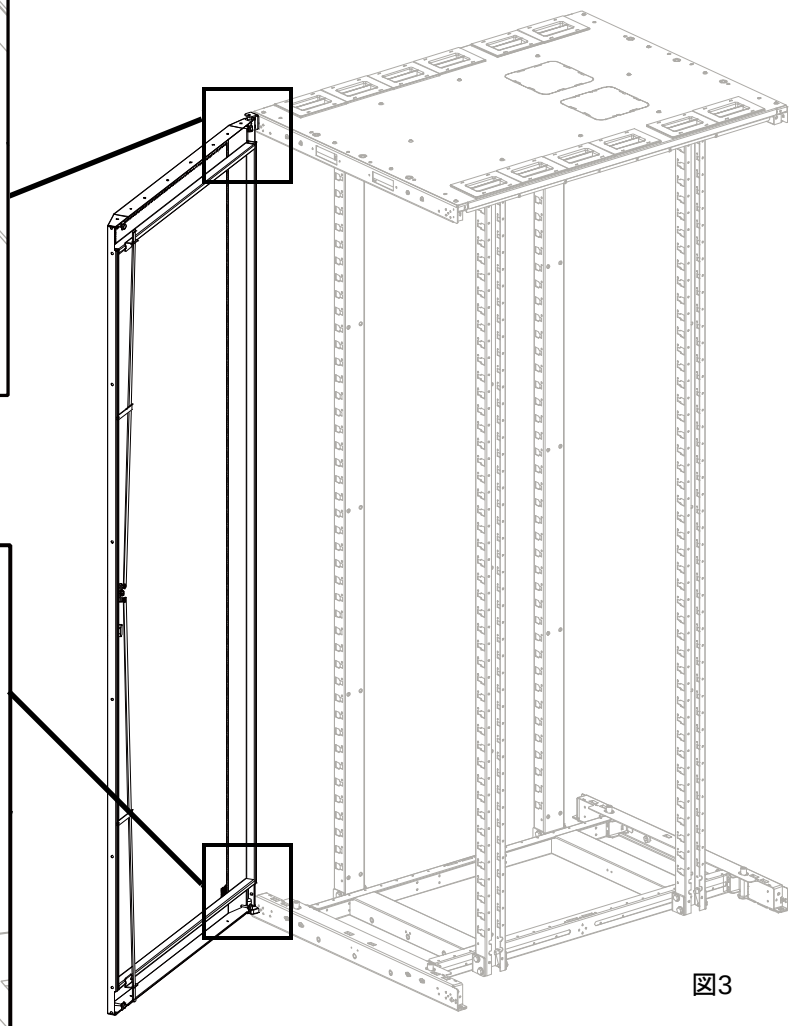


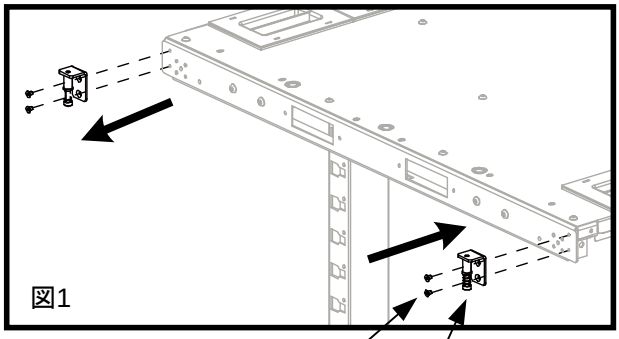
図3

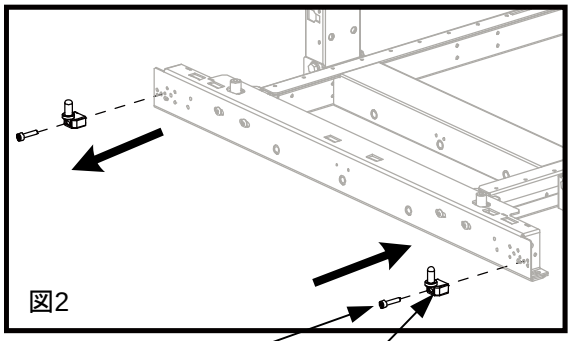
©Panduit Corporation Japan Branch

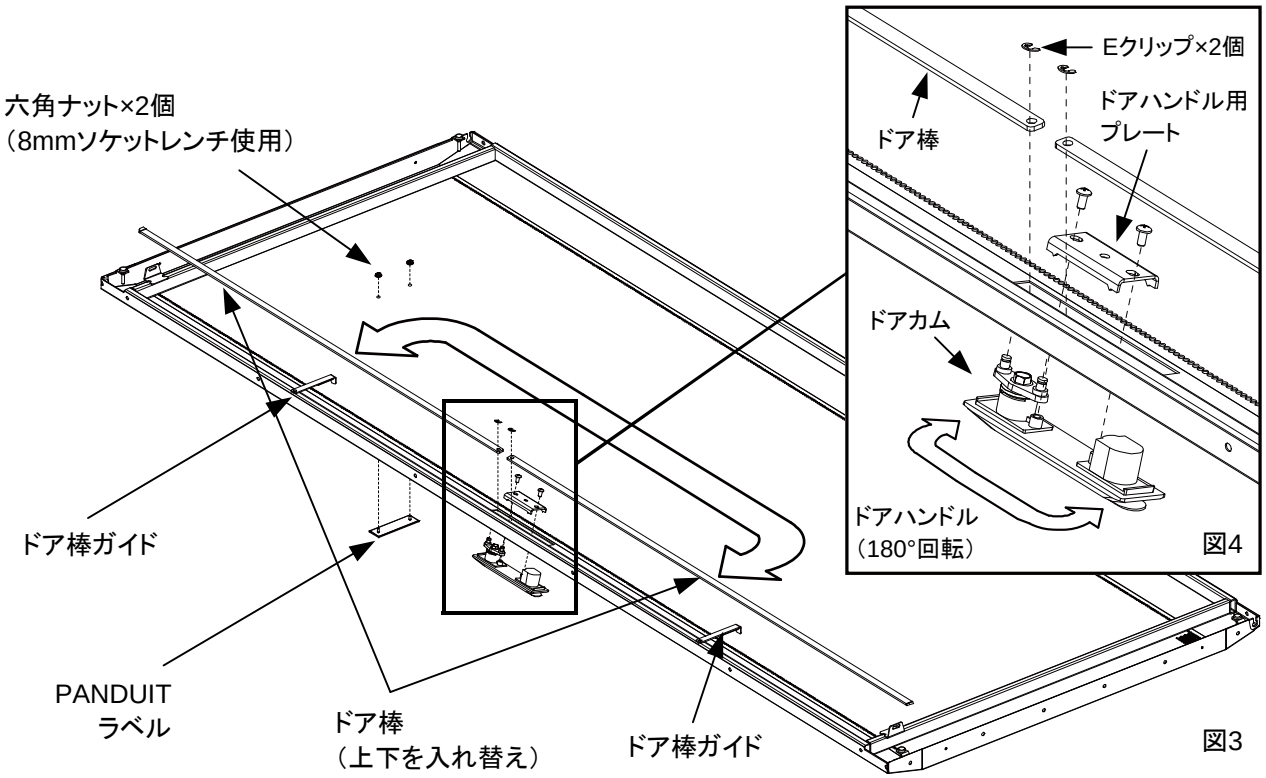
シングルヒンジドア（ハンドル位置の変更）

・図1：上部のヒンジネジを取り外し、ヒンジブラケットを取り外します。
・図2：下部のヒンジブラケットを取り外します。
・図2：左側から取り外したヒンジブラケットを右側に取り付けます。この時、上部のヒンジネジも取り付けます。

ドアハンドルの位置変更（平らな場所にドアを置いてください） －図3、図4
・ドアカムからEクリップ2つを取り外し、ドア棒の上下を入れ替えます。
・ドアハンドル用プレートを取り外し、ドアハンドルを180°回転させます。
・ドアハンドルを回転させたら、ドアハンドルにドアハンドル用プレートを取り付けます。
・Eクリップ2つを使って、ドアカムに上下のドア棒を取り付けます。（この時、ドア棒がドア棒ガイドとドアの間にあることを確認してください）
・PANDUITラベルを取り外し、ドア上部の適切な位置に取り付けます。
・17ページの手順に従って、シングルヒンジドアを再取り付けします。





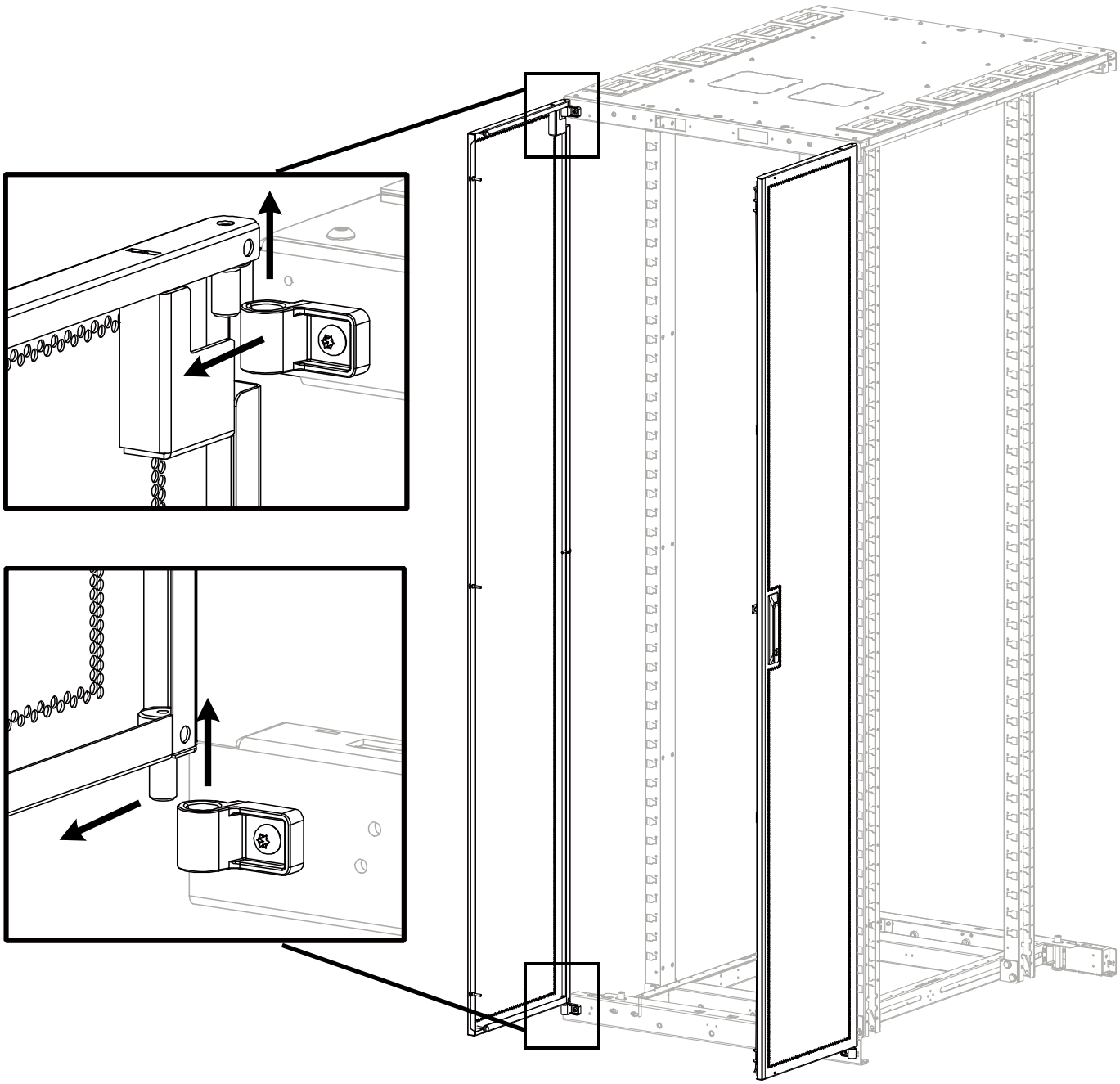


版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

背面・観音式ドア（取り外し、および取り付け）

・背面の観音式ドアを約90度に開きます。
・ドアを持ち上げて、キャビネットから取り外します。
・ドアを取り付けるには、手順を逆に行います。



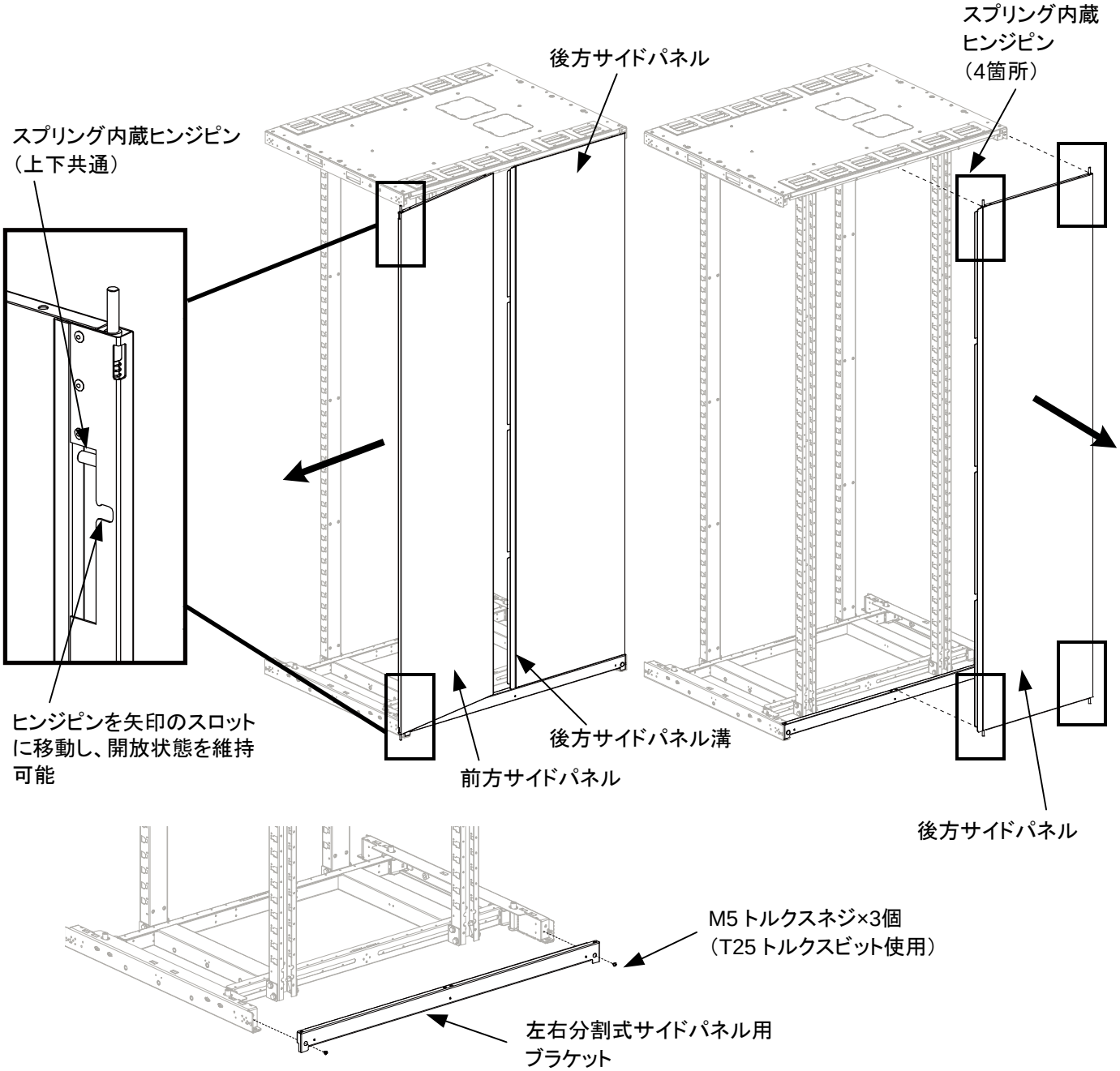
版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

左右分割式サイドパネル（取り外し、および取り付け）

・キャビネットから前方のサイドパネルを取り外すために、スプリング内蔵のヒンジピン2つを引っ張ります。
・後方のサイドパネル溝からパネルを（キャビネットの前方に向かって）引き出して、前方のサイドパネルを取り外します。
・キャビネットから後方のサイドパネルを取り外すために、スプリング内蔵ヒンジピン（4箇所）を引っ張ります。
・取り付けは、手順を逆に行います。
【重要】 はじめに後方のサイドパネルを取り付けてください。

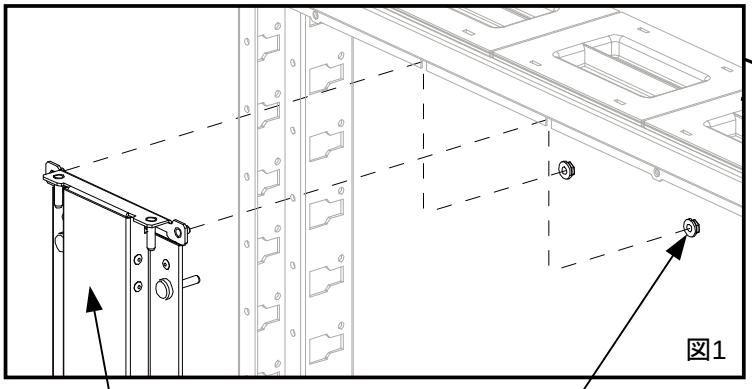
左右分割式サイドパネル用ブラケットの取り外し
・トルクスネジ2つを外し、キャビネットから左右分割式サイドパネル用ブラケットを取り外します。



©Panduit Corporation Japan Branch

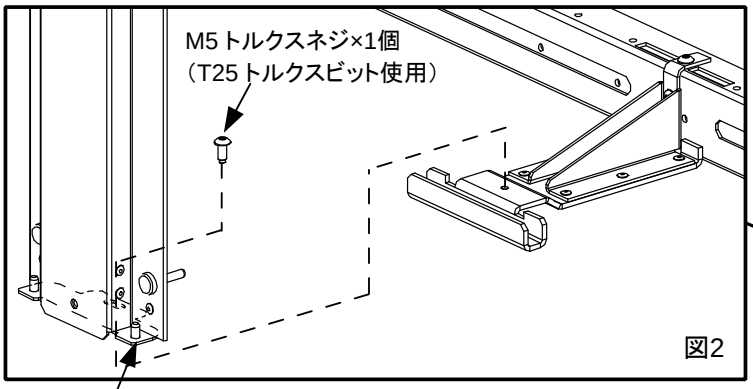
観音式/ヒンジ付きサイドパネル（N21SPH、N22SPH、N51SPH、N52SPH）

・図3：M5のトルクスネジ3個を使って、キャビネット下部にサポートブラケットを取り付けます。
・図1、図2：M5のトルクスネジ1個と六角ナット2個を使って、キャビネットと下部サポートブラケットに垂直サポートブラケットを取り付けます。
・サイドパネルの取付方法については、22ページをご覧ください。

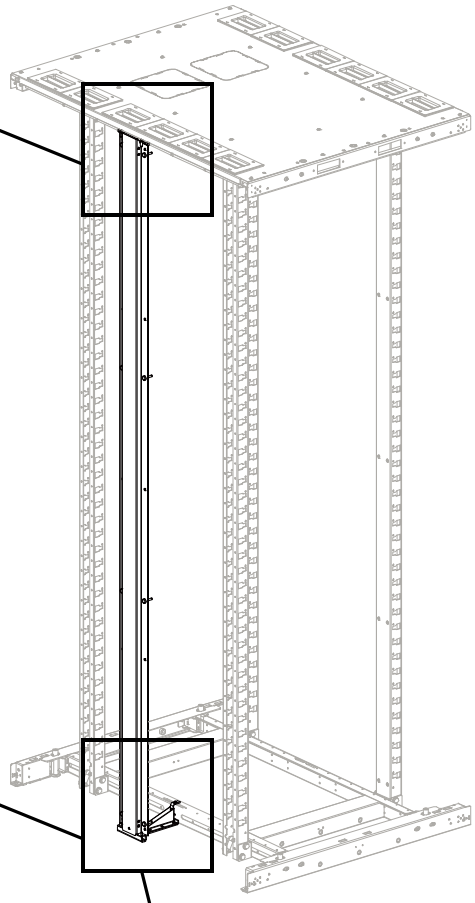


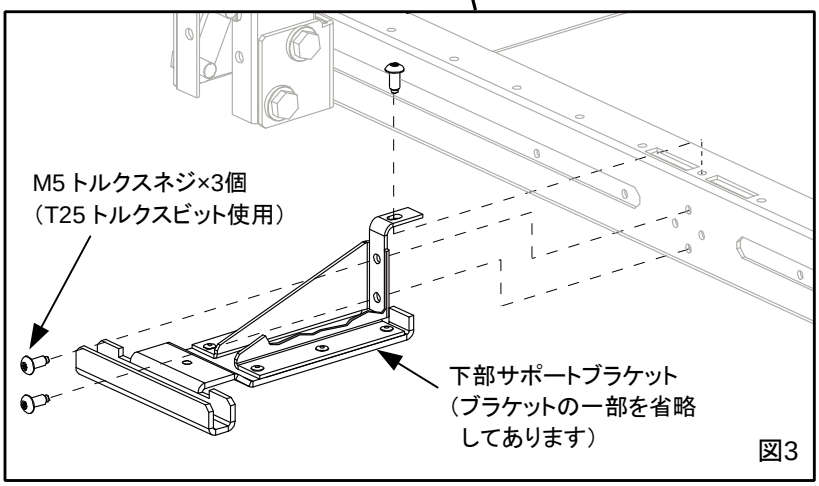
垂直サポートブラケット
（上部）

六角ナット×2個
（6mm　ソケットレンチ使用）



垂直サポートブラケット
（下部）



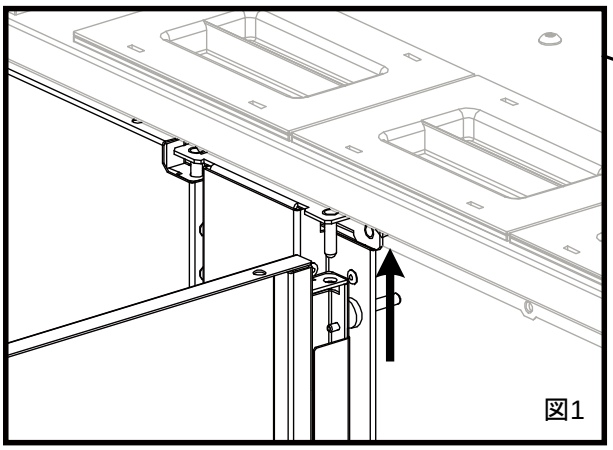


版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

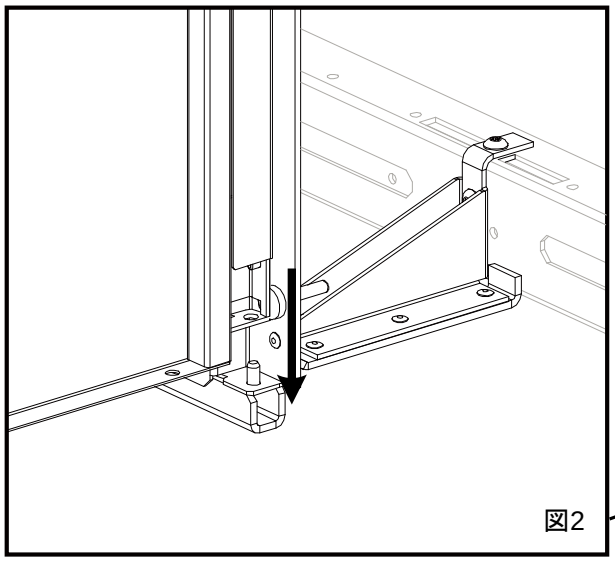
©Panduit Corporation Japan Branch

観音式/ヒンジ付きサイドパネル（N21SPH、N22SPH、N51SPH、N52SPH）

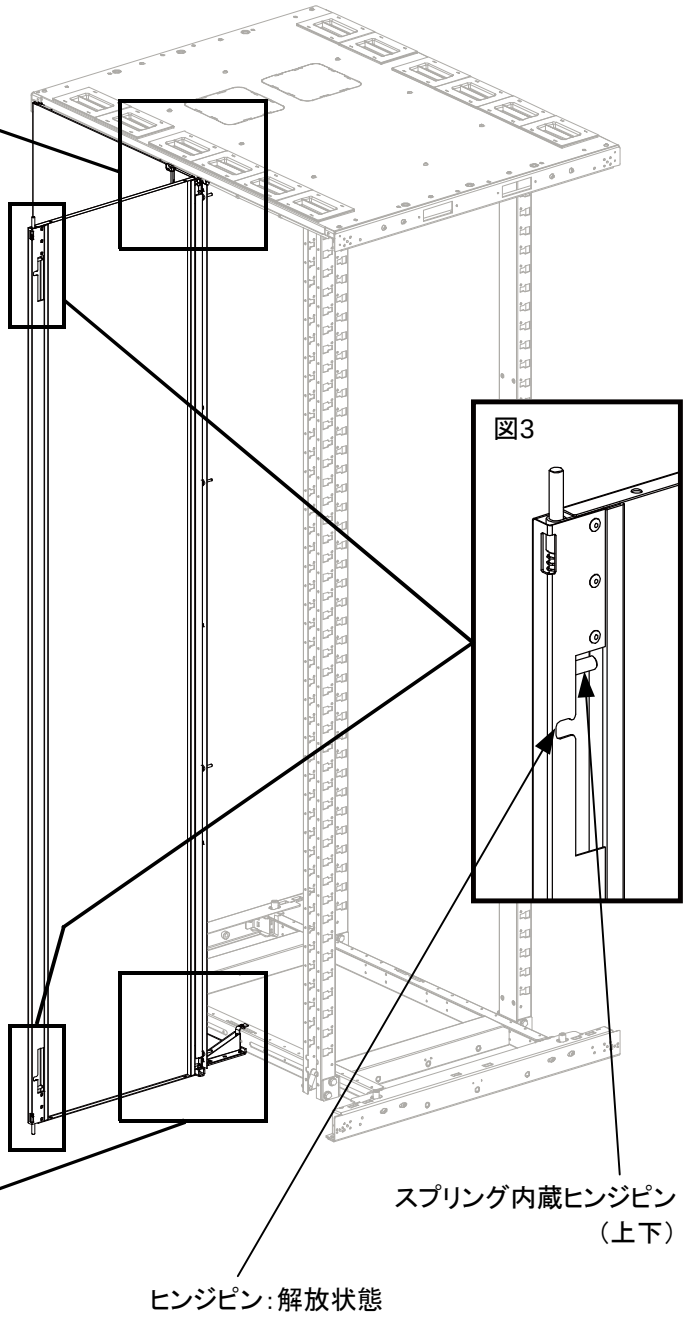
・サイドパネルを約90°開きます。
・図1：上部の垂直サポートブラケットの先端上に、サイドパネルのヒンジ部先端を合わせます。
・図2：下部の垂直サポートブラケットの先端上に、サイドパネルのヒンジ部先端を合わせます。
・図3：サイドパネルを閉じて、スプリング内蔵ヒンジピン2個を使って、キャビネットにサイドパネルの上下を取り付けます。



垂直サポートブラケットの先端上に、
サイドパネルのヒンジ部先端を合わせる



垂直サポートブラケットの先端上に、
サイドパネルのヒンジ部先端を合わせる



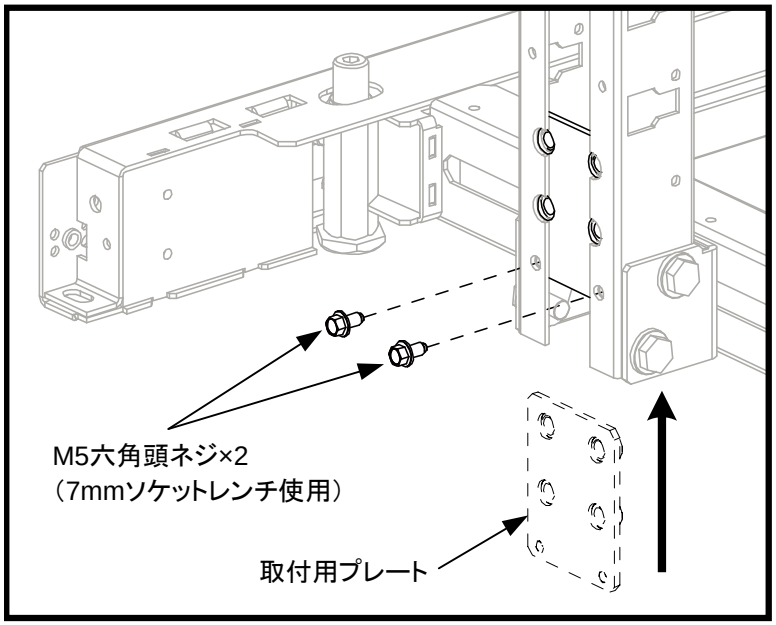
版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

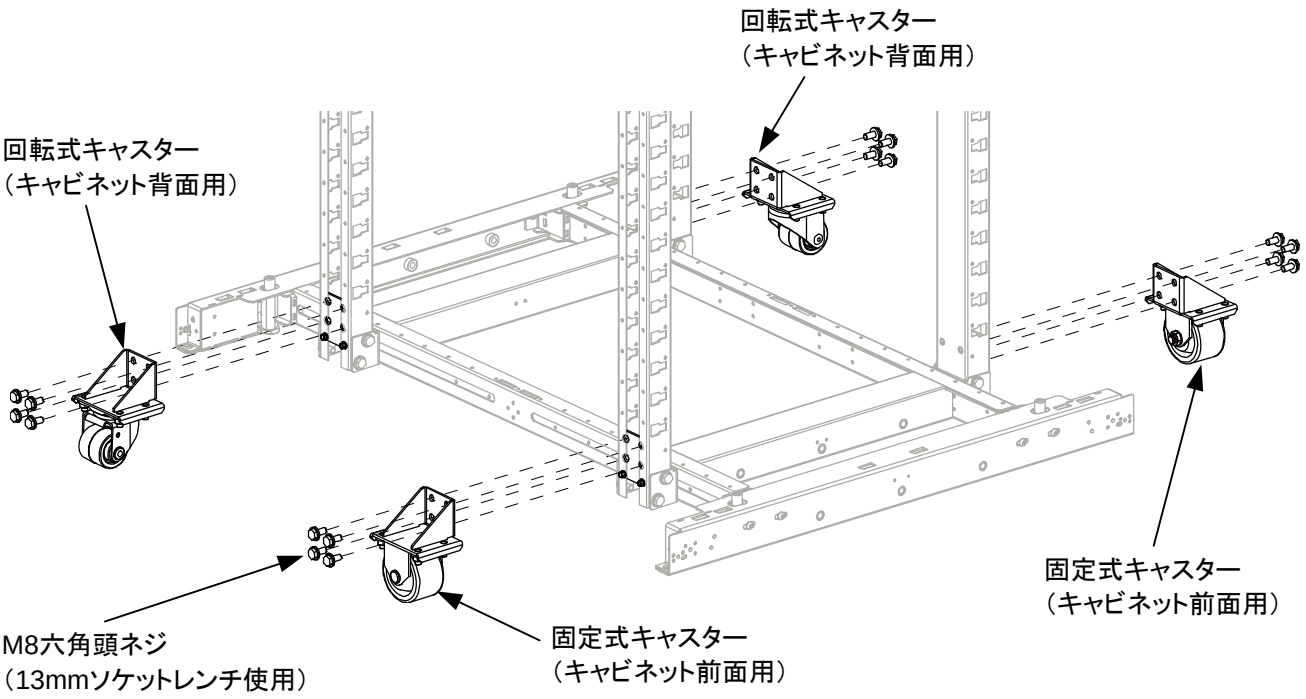
©Panduit Corporation Japan Branch

キャスターキット取付方法（NCSTR4）

・キャビネットの柱にキャスター取付用プレート（4箇所）を差し込み、プレートの下二つの穴をM5ネジで留めます。
・キャスター取付用プレートにキャスター4個を固定します。

【注】 キャビネットの前後で、固定式キャスターと回転式キャスターがそれぞれセットになるようにしてください。



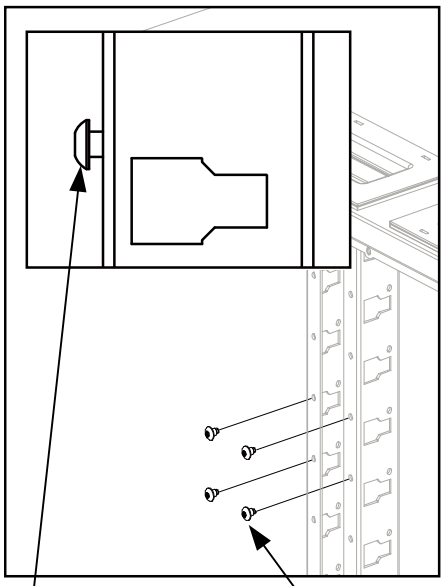


版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

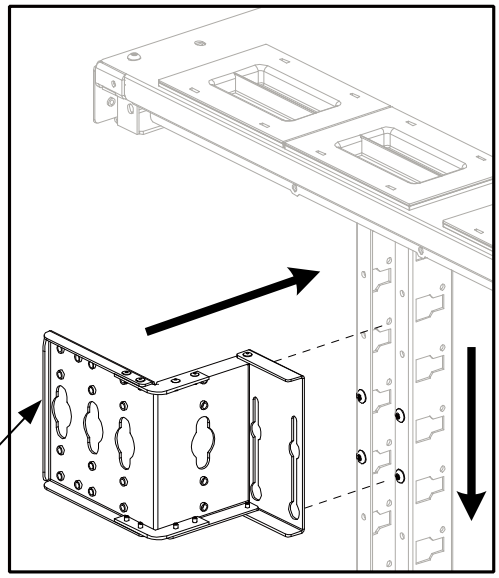
PDUブラケットキット取付方法（NVPDUB）

・下図のように、キャビネット上部の任意の位置にM5 トルクスネジ4個を使って取り付けます。
・ネジを締め付け過ぎないようにしてください。ネジとキャビネットの間に、ブラケットの厚み分の隙間を作るようにします。
・ネジ山にPDUブラケットを被せるようにして、上にスライドさせます。（キャビネットの取付側に応じて、もしくは下にスライドします）
・上部のPDUブラケットから適当な距離に下部のPDUブラケットを取り付けます。
・M5 トルクスネジ上下8箇所を締め付けます。

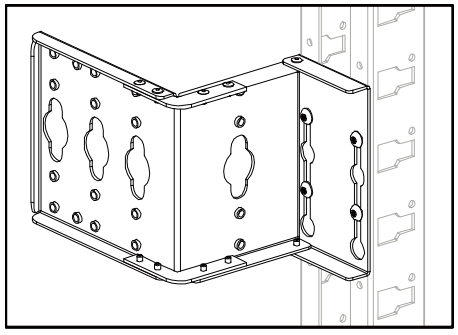


締め過ぎ注意
（ネジとキャビネットの間に隙間を作ります）

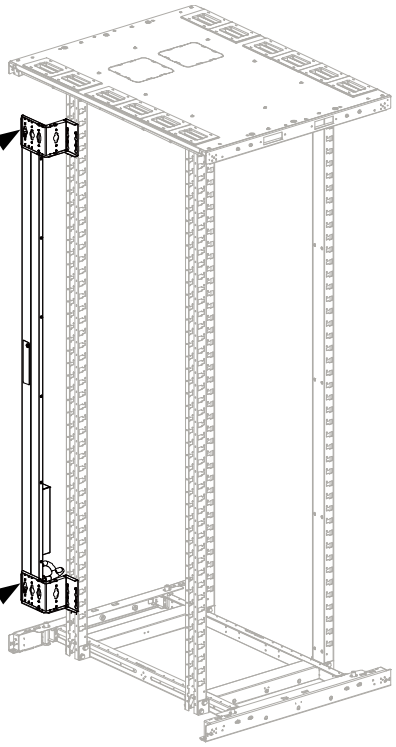
M5 トルクスネジ×4
（T25 トルクスビット使用）



PDUブラケット



PDUブラケット
（取り付け時）



PDUブラケット
（上部）

PDUブラケット
（下部）

版	制定	作成	承認
B	2013年4月18日	猿渡	今野